

# SSリーグ ～めざそう未来の科学者～

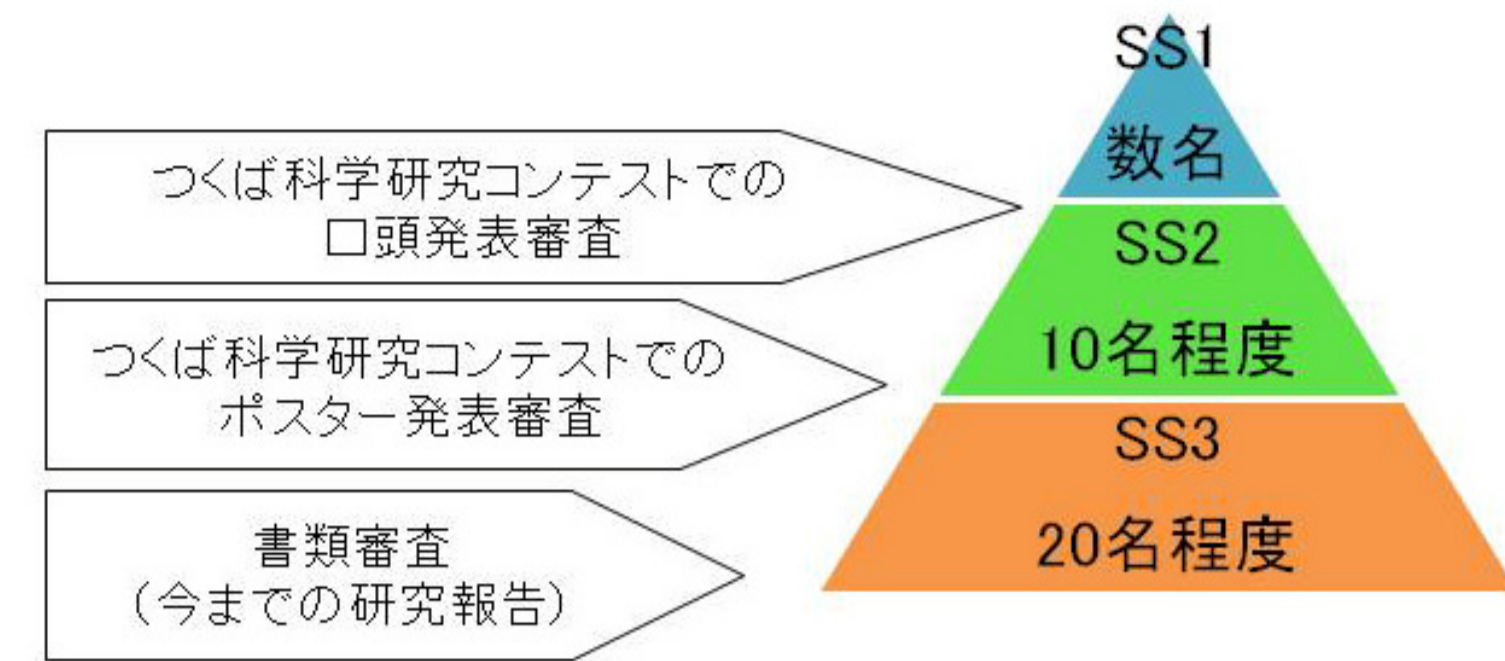
## SSリーグとは

生物学類、物理学類、化学類、地球学類は「Super Science リーグ～めざそう未来の科学者～(SSリーグ)」として、未来の科学者の育成を行っています。

SSリーグでは科学分野で卓越した能力を有し、かつ自身で研究を行っている小中高校生をSSリーグ生として選抜し、筑波大学教員および大学院生（もしくは学類生）が生徒一人一人の個別研究を支援します。

## 特徴

1. 3つのリーグからなるリーグ制
2. SS1生は高校卒業までサポート
3. SS生1名につき  
大学教員1名と  
大学院生1名が  
個人的にサポート



<p>目的</p>	<p>高い意欲や能力を有する小中高校生は日本各地に散見されるが、その能力に見合った高い水準の学習機会を十分に受けることができず、才能の芽を伸ばし切れていない。素晴らしい自主研究を行っている児童・生徒を適切に評価し、その分野の専門家が、生徒各自の研究をサポートすることにより、未来の科学者を育てていく。</p>
<p>特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SSリーグ生それぞれに合わせた筑波大学教員と大学院生（学類生）を配置し、きめ細やかな研究支援を行う。</li> <li>・ 各年度末には昇格審査を兼ねたコンテストを行うことで、児童・生徒の意欲を高めると共に、科学者として必要となる能力を養成する。</li> <li>・ 3つのリーグ（SS3,SS2,SS1）からなるリーグ制をとっている。書類審査によりSS3生を約20名選抜し、一年間の研究を審査し、約10名をSS2生とする。その後更に一年間の研究を行い、審査により約5名をSS1生とする。SS1生は高校卒業まで研究をサポートする。</li> <li>・ 夏と冬に合宿形式の実習を行い、最先端の研究に触れさせるとともに、受講生同士の横のつながりを醸成</li> </ul>

<p>取組内容</p>	<p>SSリーグでは主にメールによって研究支援を行っている。メールはすべてSSリーグ生、大学（院）生およびサイエンスコミュニケーターを含んだメーリングリストを通してやりとりされ、各自の研究状況や支援状況が逐次把握できる仕組みとなっている。</p> <p>3月に昇格審査を兼ねたコンテストを行い、SSリーグ生は一年間の研究成果を発表する。</p>
<p>平成23年度リーグ生数</p>	<p>SS1生：9名 SS2生：9名 SS3生：16名</p>
<p>成果</p>	<p>SSリーグ生は高校生科学技術チャレンジで文部科学大臣賞、科学技術振興機構賞など全国で様々な賞を受賞。</p>



夏は菅平高原実験センターでフィールド実習

仲間や教員、TAと寝食を共にすることで、横のつながりを醸成



冬は筑波キャンパスで実習

つくば市長によるサイエンスカフェも開催

様々な研究機関を訪れ、最先端の研究に触れる



「つくば科学研究コンテスト兼茨城県高校生科学研究発表会」は500名以上の参加者が集まる



SSリーグはJSTでも高く評価されており、JST News 2012.3月号において、大きく取り上げられた。

## 平成23年度教育に係る学長表彰受賞！

「SSリーグ～めざそう未来の科学者～」  
(実施組織名：生命環境学群生物学類・地球学類、理工学群：物理学類・化学類)

